

令和8年1月1日発行／毎月1回1日発行／通巻1051号

総合演劇雑誌

テアトロ

1
2026

【批評的エッセイ】言語の消滅と移民問題 江原吉博
【養成ガイド】劇団KAZE 劇団NLT 昂ほか

いまを生きる⑤ 坂手洋二
連載 心に劇の火を灯せ⑨ 蘭本賢一
共創する空間へ⑩ 西堂行人

【エッセイ】命かけて、闘う！
三條三輪／跡見梵／池田政之／南保大樹／岡本章／
小池雅代／大森匂子／川口啓史／蘭本賢一／美崎理恵／
由起圭／前田真里衣／江久里ばん

今月選んだベストストリー 377 河野 孝

第38回テアトロ新人戯曲賞募集！

◆戯曲◆

圧倒的人気

山野邊禮
第二部

相澤嘉久治



No. 1051

11月の
関西

絶望の中の生氣

兵庫県立芸術文化センター企画製作【明日を落としても】
清流劇場【キュクロプス—貧民街の怪物】
立ツ鳥会議【そびれるしま】

九鬼葉子

所見、田中孝弥台本・演出)。

原作は、トロイア戦争終結後、ギリシアの英雄オデュッセウスが帰途の途中で漂着したシシリーリー島で、一つ目巨人族のキュクロプスと対決、彼の目を潰して去る話。本作では、田中孝弥の故郷である尼崎市で起きた強制代執行をモチーフに、河川敷で暮らす人々と、立ち退きを迫る行政側の人々との葛藤を描く作品に仕上げた。

舞台は、労働者のために河川敷に建てられたバラック。河川工事が終わつた後も住み続ける貧しき者達がいた。クズ鉄屋の親方(アンディ岸本)がリーダー格だ。だがオリンピックや万博を控え、行政は立ち退きを迫る。頑なに拒む彼ら。土木建築部長(高口真吾)と部下達は身分を偽り、彼らの中に巧妙に入り込み、個別に説得を試みる。

仮設住宅への入居を勧める彼らだが、親方達は町の人々から差別されており、クズ鉄屋には作業場も必要で、仮設住宅では暮らせない。新しい仕事に就こ

うにも、正当な賃金で雇ってくれる人もいない。時代に合わせて変わろうとしない彼らを非難する声に対し、親方は「変わろうとせんのはワシらに対するお前らの目えや」と怒る。

社会のルールが正義で、それを守る者が文明人とされ、逸脱せざるを得ない人は野蛮と非難される。その分断への問題提起を作品に込めた。彼らの貧しさの背景には戦争があるのだが、部長は、戦争は御上が決めたこと(=社会のルール)と語る。現代も続く正義の矛盾を問い合わせ、共生社会を唱えるながら、排他主義へと傾く現状を突いた。屋根に描かれた一つ目の絵。「お前らを見てるんや。何をしてきたか。何をしようとしてるんかをな」と親方は語る。だが全員が去り、一人残った親方は、強制代執行の時に怪我を負い失明する。キュクロプスのごとく。

装置はバラックの骨組み。俳優達が何度も回転させる。世界を反転させることでどちらが正義かを問い合わせた。

大阪弁の会話は滑稽味があり、オリ

清流劇場がエウリピデスの唯一現存するサテュロス劇(古代ギリシアで悲劇競演後に上演された滑稽な劇)を原作に、舞台を1961年の兵庫県・武庫川河川敷に移し、大阪弁に脚色した『キュクロプス—貧民街の怪物』を上演(10月17日、一心寺シアター俱楽で

ジナルソング(田中孝弥作詞、仙波宏文作曲)の合唱が爽快。詞は彼らの過酷な状況を表すが、曲調は明るい。彼らの、「それでも、生きたい」と願う生気が溢れる舞台。